

大石地区北方部ウォーキング 散策スポット

霊山寺衆徒十二坊（院主、藤本、谷神）

かつて霊山寺が山上にあった時期、山上は“僧の修行の場”、山麓の里山は“僧の生活の場(坊)”として棲み分けられていました。室町期、ここ大石は十二の坊があったと伝えられており、北方部散策ルート沿いには、高僧の居であった院主坊(院主)をはじめ、藤本坊(藤本)、谷上坊(谷神)の三坊があったとされています。



薬師堂（院主）

本尊仏は薬師如来。建立は貞観年間で平安時代慈覚大師が霊山寺を開山した時と重なります。ころり薬師像ともいわれ長患いをしないで逝かれることを願って建立されたと言われています。



延命地藏尊（谷神）

嘉永6年(1853)建立。地元の子供たちが木彫りの小さな地藏様をもて遊んでいるのを取り上げ供養したのが始まり。かつては茅葺き屋根でしたが平成9年に銅板葺きになりました。長寿を願う地藏尊として地元で親しまれています。



北又日影の枝垂れ桜（長畑）

江戸期、生糸の豪商であった日影大橋家の邸宅前にある樹齢70年を越える壮麗な枝垂れ桜。北方部を訪れる人は必ず足を止める春の代表的ビュースポットのひとつです。



山の神（杉菜畑）

部落の安全と繁栄を祈念して祀られている山神様です。昭和53年の道路改良工事で移転・取り壊しの危機を迎えましたが、神号が刻まれた大きな自然石を動かす事は困難を極め、部落民が福島県へ陳情の末、当地への保存が認められました。



北又貴船桜街道（杉菜畑）

約20年前、河川改修工事の際に植樹した桜で、川沿いに約400mにわたり咲く見事な桜並木に成長しました。春の桜散策には是非歩いてみたいスポットです。



貴船・三嶋神社（杉菜畑）

貴船神社は水の神である高麗神（タカオカミノカミ）、三嶋神社は山の神である大山祇命（オオヤマツミノミコト）北畠顕家卿の守護神とされています。顕家卿が泉州阿倍野の戦に敗れ石津で最期を迎えた時、家臣大橋掃部が遺髪を貴船・三嶋両神社に祀って卿の御徳を追慕したと言われています。



金華山・黄金神社（高谷）

大正6年頃、高谷部落の住民が宮城県の金華山・黄金神社へ出向き御礼をもらい受け分家となりました。金華山の守り神は蛇。養蚕が盛んな頃はお蚕様の天敵のネズミから守る神として崇められました。



北又の獅子舞（市無形文化財）

江戸期文政年間（1820年頃）、大橋家2代目甚兵衛が秋田に旅行に行った時、孫の土産に獅子頭と山車人形を買い、獅子舞を習得して帰ったのが起源。その後、貴船神社に伝わる神楽にあわせた獅子舞が完成しました。11/3の北方部の秋祭りでは各部落の寺社や民家をまわり獅子舞を奉納、五穀豊穡と無病息災を願います。



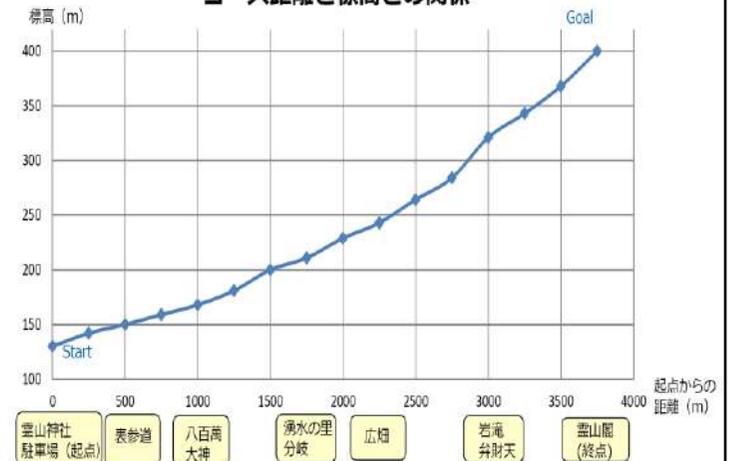
大石地区南方部 ウォーキングマップ



<コースの特徴>

霊山神社前駐車場から霊山登山の拠点である霊山閣跡までを上る県道31号線沿いのコース。かつての霊山への参詣路として栄えたコースで、石碑や祠など路傍に点在する数多くの文化財が探訪できます。里山三方部のウォーキングコースのなかでは最も標高差のあるコースで、特に広畑より上は急勾配の林道を歩く事となります。川のせせらぎを聞きながらの森林浴をお楽しみ下さい。

コース距離と標高との関係



◎ 距離 : 3750m
 (約6200歩)
 ◎ 標高差 : 270m
 ◎ 平均斜度 : 7.2%

* 歩幅=60cm 換算



大石地区南方部ウォーキング 散策スポット

霊山寺衆徒十二坊（南方部5坊）

かつて霊山寺が山上にあった時期、山上は“僧の修行の場”、山麓の里山は“僧の生活の場(坊)”として棲み分けられていました。室町期、ここ大石は十二の坊があったと伝えられており、南方部散策ルート沿いには、橋本坊（院主）、小坂坊／田中坊（小坂）、滝本坊（右代）、竹之坊の三方部最多の5坊があったとされています。

霊山神社（院主）

大石地区の中心で東北では2つしかない別格官幣社の一つ。南北朝時代、南朝の公家武将として後醍醐天皇に仕えた北畠顕家とその血族（親房、顕信、守親）が祭神として祀られています。顕家は陸奥国司とし広大な奥州を短期間で整備し、在任中、陸奥国府を多賀城から霊山に遷しました。北朝方に敗れ非業の死を遂げましたが、その偉功を称え明治14年（1881）に創建されました。

4月29日の春の例大祭では、顕家歓迎の剣舞を発祥とする濫觴武楽（らんじょうぶがく）が奉納されます。



弁財天神社（小坂）

小坂集落上の急な坂道をのぼったところ、台上に広がる土地に、弁財天を祀る神社があります。小坂集落の氏神様で夏まつりの時は縁日もでて賑わったと言われています。庚申塔や二十三夜碑などの石碑が残り、民間信仰に密着した拠点となっています。



八百万大神（小坂）

大正の大雨で上流より流れついて様々な石仏や神々を粗末にならないよう一同に集めて供養したと伝えられています。石碑は計11体あり、山の神、馬頭観音、地藏など里山で親しまれている神仏が合祀されています。



愛宕神社（楮畑）

楮畑の道にある神社は、愛宕、古峯、八幡三体の本尊が奉られ、右代・楮畑集落が氏子として祀ってきました。今でも毎年5月に祭礼が行われています。



青麻権現（広畑）

かつて、福島は青麻の生産地。宮城県仙台の青麻神社より頂いたお札を祀った事が由来といわれます。中風を封じる神様として高齢者の信仰を集めています。別称“ころり様”と呼ばれています。



蚕養国神社（広畑）

かつて養蚕が盛だった時代、蚕をネズミから守るために多くの家で猫を飼っていました。当神社では猫の形をした地藏様が祀られており養蚕の神様として霊験あらたかでした。



岩滝弁財天（広畑）

碓川上流の川中に大岩があり、その上に小さな祠が橋でつながり建っています。この神社は霊山寺建立と同じ貞観元年（859年）に勧請されたとされ、小社巖島神社の弁財天として、北畠顕家に従った比叡山延暦寺の僧兵を奉っています。



霊山閣跡（広畑）

昭和2年（1927）霊山村有志が作った休憩宿泊所。霊山登山の基地として戦前は賑わいました。一時は、掛田から霊山閣までバスが運行し、入るようになりました。



竹生島流棒術伝承の碑（広畑）

平安末期、琵琶湖竹生島発祥の平家伝来の棒術。北畠顕家が霊山城に移った際に、比叡山延暦寺の僧兵によりこの棒術が伝えられました。長さ6尺1寸の棒で一撃で敵を倒す技が伝承されています。



大石地区下方部 ウォーキングマップ



<コースの特徴>
大石下方部地区は大きく2つのウォーキングコースを設定しました。

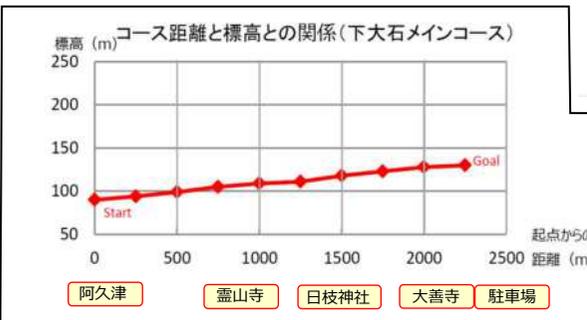
① 下大石メインストリート散策コース (—)
阿久津鳥居広道を起点に、霊山神社下の駐車場に至る県道31号線沿いのコース。大石を代表する寺社を巡る平坦で歩きやすい王道コースですが、交通量が比較的多いので車には十分注意してください。

② 代皇山周辺散策コース (—)
下大石を一望する代皇山周辺を散策するコースで霊山地区交流館を起点に、
1) 代皇山(標高227m)をいっきに登るルート
2) 共栄・稲荷内の集落を巡り広瀬川沿いに阿久津鳥居広道に至るルートの2ルートに枝分かれします。
下大石ののどかな田園地帯を巡るコースで、豊かな自然(花、緑、水)と歴史を感じてください。

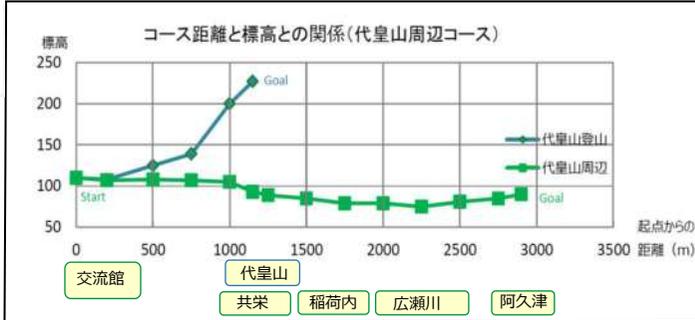
至 山戸田・石田

至 中川・石田

至 霊山閣・湧水の里



◎距離：2250m
(約3750歩)
◎標高差：40m
◎平均斜度：1.8%



<代皇山登山>
◎距離：1150m
(約2000歩)
◎標高差：117m
◎平均斜度：10.2%

<代皇山周辺>
◎距離：2900m
(約4800歩)
◎標高差：35m
◎平均斜度：1.0%

大石地区下方部ウォーキング 散策 スポット

霊山寺衆徒十二坊（学頭、清水）

かつて霊山寺が山上にあった時期、山上は“僧の修行の場”、山麓の里山は“僧の生活の場(坊)”として棲み分けられていました。室町期、ここ大石は十二の坊があったと伝えられており、下方部散策ルート沿いには、高僧の居であった学頭坊(三ノ輪)と清水坊(院主)の二坊があったとされています。



霊山寺（倉波）

平安時代、当時自然崇拝の聖地であった霊山に慈覚大師が天台宗寺院を 859 年に建立。往時は山上に壮麗な伽藍群が並び“北の比叡山”と称される繁栄を極めました。南北朝期の 1348 年北朝軍の攻撃により寺院は灰燼に帰しました。

その後、霊山寺は伊達氏の庇護の下、“里の霊山寺”として大石宮脇の地（史蹟 宮脇遺跡）に再興。途上、後続の領主（蒲生氏、上杉氏）による迫害や 1602 年に寺院の火災焼失などの受難にもあいましたが、倉波の地に三代目霊山寺として再建され今に至っています。なお、宮脇には霊山寺観音堂があり信達三十三観音の 29 番札所として民の信仰を集めています。



霊山寺



霊山寺観音堂

日枝神社（宮脇）

1562 年、伊達氏により霊山の山上にあった山王社（一の宮）を大石の地に移し二の宮として建立しました。

一時期荒廃の憂き目もみましたが、上杉家家臣古川善兵衛により 1640 年再建、1724 年にさらに建て直されたのが現在の御本殿です。

山王信仰の特徴である猿を守り神としており、本殿の左右の柱上には“落ちない猿”が彫られています。また、境内には 1817 年に建てられた白河藩主松平定信が南朝方の霊山城国司北畠顕家を称えた霊山碑があります。大石・泉原を氏子とした旧霊山村の村社であり、毎年 7 月 20 日は日枝神社の夏まつりが開催されます。



日枝神社本殿



本殿柱の猿の彫像

大善寺（院主）

1610 年に建立された浄土真宗の寺院。当時の浄土真宗は振興宗教により異端視されていましたが、上杉家家臣古川善兵衛が当宗派に帰依し、地元民を強制的に改宗させた事で広まったとされています。

境内には聖徳太子像が安置された太子堂が建てられており毎年 9 月 8 日には聖徳太子会の神事が催されます。



大善寺



聖徳太子会

代皇山（台馬越）とその周辺

標高 227m の代皇山は下大石の集落を見下ろすシンボリックな山です。南北朝期の 1337 年、義良親王が後醍醐天皇の命を受け北畠顕家とともに霊山城に入城したことから代皇山（天皇に代わる）と伝えられています。頂上には古峯神社があり、千手観音菩薩、大日如来、古峯明神が祀られていました。また、山頂の周りには“西国三十三観音”が安置されており、身近な巡礼の場として賑わっていたと思われます。現在の登山ルートは台馬越からの 1 か所のみですが、かつては共栄や稲荷内からの登山ルートもあり、地域に密着した地元の行楽スポットでした。



古峯神社



三十三観音

◎代皇山の自然

・ミズバショウの群生、カタクリの群生（登山道脇）

◎代皇山周辺の寺社・文化財

①勢至観世音堂（台馬越）：

阿弥陀如来の右脇侍 勢至菩薩を祀る。

②牛頭天皇神社（共栄）：

牛頭天皇は京都八坂神社の祭神。祇園信仰として悪疫退散、水難鎮護を願う。

③羽黒神社（共栄）

350 年前大槻一族の先祖が建立。

出羽三山の羽黒権現を勧請



勢至観世音堂



牛頭天皇神社



羽黒神社